

# 南方熊楠の見た大宇宙 —粘菌の視座から—

粘菌(変形菌)は、動物でも植物でも菌類でもない非常に不思議な生物です。そして現在、この生物への関心が世界的に高まりつつあります。粘菌は、生物学は勿論、アートや交通工学、宇宙物理学のフィールドでも研究され始めています。本講義では、日本における粘菌研究の先駆者である南方熊楠の言説を軸にしながら、この生物を哲学的に考察したいと思います。いくつかの動画とともに、「触知」や「往還」をキーワードとしながら、粘菌のもつ原初的かつ未来的な知の在り方について考えていきます。

配信日時： 10月1日(金)～31日(日)

期間中どなたでもご視聴いただけます。

URL： 4部構成になっています。

- ① <https://commons.i.muc.meiji.jp/em/6149d1ba2ccc1>
- ② <https://commons.i.muc.meiji.jp/em/6149d3853bf7c>
- ③ <https://commons.i.muc.meiji.jp/em/6149d215ea767>
- ④ <https://commons.i.muc.meiji.jp/em/6149d28dee690>

講師： 唐澤 太輔 秋田公立美術大学准教授

講師紹介： 1978年、神戸市生まれ。  
早稲田大学大学院社会科学部研究科博士後期課程修了(博士[学術])。  
現在、秋田公立美術大学大学院複合芸術研究科ならびに美術学部 アーツ& ルーツ専攻准教授。  
専門は哲学/文化人類学。  
著書に『南方熊楠の見た夢—パサージュに立つ者—』(勉誠出版、第13回湯浅泰雄著作賞受賞)、  
『南方熊楠—日本人の可能性の極限—』(中公新書)など。